

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（12月分）

留学先大学：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：福井理文

私事ですが、12月で私誕生日を迎えました。誰から聞いたか覚えていませんが、21歳で人間の体感時間は半分過ぎているそうです。新しい体験を重ね、長く感じていたいです。

12月はクリスマスをドイツで過ごし、他の留学組にあったりしてとても楽しい時間が過ごせました。その他には、水タバコ以来となる“vomiting”を今回はお酒でかましてしまい、反省する日もありました。そんな感じで12月を振り返ろうと思います。

● 再会



右の彼は福井大学に留学に来ていた時にチューターをしていたのですが、偶々連絡が来て、僕がドイツに行くときに彼もドイツにいるということだったので久しぶりに会えました。福井大学で出会った留学生と会える機会は中々無いのですが、こんな風に自分が会いたいと思い、かつ相手も会いたいと思ってくれてるって幸せだなあと思ったりしました。

● ルーマニアのクリスマス

残念ながら、肝心のクリスマス本番にはルーマニアにいなかったのですが、クリスマスの一週間前の週の授業が驚きでした。何と生徒が全くいないのです。他の留学生も帰省しているのか、授業に人が全く来ていませんでした。結局その授業では、先生と少し雑談して終わりました。一応僕の出席は取ったのですが、他の皆はもう気にしていないのだと思います。その先生によると、この状況はいつも通りみたいなもので、他のお店なんかでも1週間前から休みに入るところは結構あると言っていました。

余談ですが、ドイツでもお店が閉まりまくってました。宗教が違う国のレストランとかだと開いているらしいですが、どこの国でもしっかり家族と休むんだなど、話には知っていましたが実際に町の雰囲気を感じてみるとまた違いました。

- 世界に羽ばたく日本の技術

今回は、ブカレストにある中華料理店で使われている「おてもと」です。



この中華料理屋は中国人の方がやってるんですが、本当に美味しくて、海外で食べる日本食より満足度が高くて素晴らしいです。味というよりは、白米とおかずを合わせて食べることが出来るスタイルが、最高なのかなと勝手に推測しています。他にも日本食のお店はありますが、そのスタイルではないからいまいち満足できないのかなと思います。合わせ食べはヨーロッパにはあんまりない文化なのではないでしょうか。

- 終わりに

留学すると同じ悩みだったり、同じことでも違う風に見ていたり考えていたりしますが、近い時期に留学しているというだけで何となく仲間意識があるというか。それも有り、とにかく皆で集まれて、色々お話出来たのが嬉しかったですね。カルチャーショックを抜け出すには、人と関わるのが一番と事前のセミナーで聞いていましたが、同じ目線から話ができる人と共感しあったりするの凄く楽になると思いました。